

札幌市博物館活動センター 情報誌 ミューズ・レター

Muse Letter

No.66
February 2017

オオアシトガリネズミ

モグラの姿とネズミの名前を持ちますが、そのどちらとも異なる系統の小型の哺乳類「トガリネズミ科」の一種です。国内では北海道だけに生息し、野山の地中でミミズや昆虫を食べています。体重およそ20グラムですが、基礎代謝率が高く、食べ続けないと生きていけません。



撮影:渡辺 展之

「博物館」を意味する英語Museumの語源であり、喜びを表すmuse(ギリシャ語)と通信や手紙を意味するLetter(英語)からMuseLetterと名付けました。

街の魅力、 お散歩しながら 体感しよう!

—平岸は安全な段差の街?—



図2 精進川河畔公園

崖の上が平岸面、崖下が札幌面。
崖は平岸面の断面。



図1 平岸おさんぽコース

(写真:札幌市環境局)

今年4月に平岸に移転してから、博物館活動センターで新しく始めた事業に「おさんぽミュージアム」があります。これは、みんなで街歩きをしながら、足元から街の凸凹を実感し、地域の自然やその成り立ちを背景とした街の歴史や魅力を体感しようという目的で始めたものです。まず手始めに、平岸から散歩をはじめましょう。およそ5kmの“おさんぽ”です(図1)。

活動センターが建つ「月寒台地」は、札幌の南西部、平岸—月寒—平岡—里塚一帯に分布する火山灰の台地です。今から、およそ4万年前、現在の支笏湖にあった火山が噴火し、地下のマグマを火山灰に変えて周辺に厚く堆積させました。札幌は一面、高温の厚い火山灰に覆われましたが、後に流れた川によって削られ、一部が台地状に取り残され、月寒台地ができました(図3)。

博物館活動センターから北へ月寒台地を降りていくと、アンパン道路(①)と呼ばれる道(道道453号)にでます。アンパン道路は月寒台地を切り開いて穏やかにした道です。これを横切り、「平岸高台

公園」の北側にある急な階段(②)を見上げると、月寒台地本来の切り立った崖を想像することができます。この崖を造った川が、日本一急流な都市河川と言われるかつての「豊平川」です。この川が流れた跡である斜めの通り(③)を南西方向に進むと、地下鉄南北線の地上軌道(④)にぶつかります。当時、豊平川は、ほぼこの軌道に沿って流っていたのです。

平岸街道(平岸通)を南に進むと、左手に月寒台地の高まり(⑤)、右手に天神山(⑥)、その間にかつて豊平川が流れた凹(地下鉄軌道)があることから、天神山は月寒台地の一部で、川に削り残された台地の一部だったことがわかります。

かつての豊平川は、月寒台地を削ると同時に上流から運んだ礫や砂を平野部に堆積させ、扇状地を造りました。これを豊平川扇状地の「平岸面」といいます。平岸街道(⑦)はこの平岸面の上を通る道です。天神山を抜け、裏手を通る国道453号から精進川の流れ落ちる崖(⑧)を下ります。この崖は、豊平川が平岸面を削った時にできた崖で、



図3 石狩地底地帯の地質図(笠原ほか、2003)に加筆。
□内が月寒台地。

崖を下りたところが新しい扇状地「札幌面」です(図2)。ここを流れる精進川(⑨)は、平岸面を削ったかつての豊平川の名残であって、崖の上を流れる本来の精進川(⑩)とは異なります。札幌面を精進川に沿って北に歩き、道道453号から東へ、地下鉄南平岸駅まで平岸面を上り、今回のおさんぽは終了です。

人は台地の上を好みます。それは、見晴らしがよく、洪水などの心配が少ない、安全な場所だからです。札幌で最も古い人類の証拠(旧石器)や、それに続く縄文、続縄文以降の遺跡、遺構が平岸

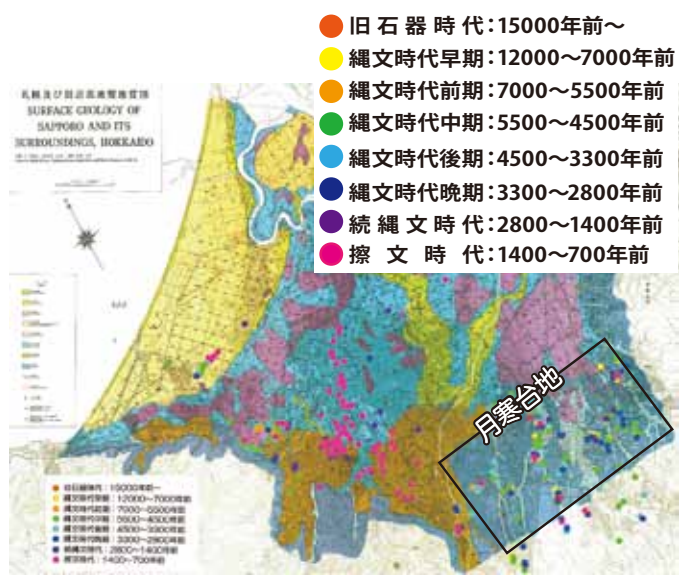


図4 札幌の地盤地質と遺跡の分布(『札幌及び周辺部地盤地質図』地質調査所、1991)に加筆。

周辺から数多く発見されていることが、ここが長い間人類にとって安全な場所であったという証拠です(図4)。

明治4年以降、岩手県水沢地区の方々を中心とする平岸の開拓者は、日本でも最大級の胆沢扇状地で暮らした知識と経験を活かして、当初、麻の生産と製網業をめざしましたが、古い扇状地である平岸面は、思ったより水が得られず、逆に水はけのよい扇状地の特性を生かして果樹の栽培を成功させ、リンゴの生産で世界に名を馳せました。

文・写真/学芸員 古沢 仁

ホット
コラム

展示室につき
来るたび変わる? 博物館

○月×日 展示解説員 前田亜沙美

はじめまして、11月から新しく展示解説員になった。前田亜沙美です。先日、当センターに何

度も足を運んでくれてい

るおばあちゃんとお孫さんが久しぶりに来館。すると、お孫さんが展示物を指さして「これ、前はなかったよね?」と、大きなものから小さなものまで、展示の変化を発見して大興奮!

そうなんです! 11月に新たな展示物を増やしています。サツポロカイギョウ化石の実物標本や大きなクジラ化石の腰椎(レブリカ)も登場!

また今も日々、私たちスタッフが少しずつ展示に手を加えています。しかも変わったのは展示室だけとは限りませんよ。

「この展示前と違うかも?」と思ったら、是非サツフに声をかけてください。

一緒に答え合わせをしましょう!

スタッフも知らぬうちに展示が増えていくことも...



コレクション クエスト

ふだん公開していない
収蔵物を紹介します。
さあ、標本の世界を冒険だ!

生きた昆虫に取りつく菌類を「冬虫夏草(とうちゅうかそう)」と呼びます。世界で300~400種類が知られ、中でも漢方薬に利用されるものは、ガの幼虫に寄生し中国~ヒマラヤに生息する種類です。それぞれの菌は特定の種類の昆虫に寄生します。

セミタケはセミの幼虫だけに取りつく冬虫夏草で、地中にある幼虫の体に菌糸を張りめぐらせて養分を取って成長し、そこからひよろ長いキノコ(子実体 しじつたい)を出します。比較的普通に見られるとはいえ、地中に埋まっているので探し出すにはかなりの根気が必要です。

文・写真/学芸員 山崎 真実



15cm
セミタケ

File No.2 なるほど楽しい!! 2017 博物館フェスタinチカホ

SMAC活動レポート

当センターで行われる、市民の自主的活動や、学校との連携など、様々な活動を紹介합니다。

札幌駅前地下歩行空間で「博物館フェスタinチカホ」を開催しました。期間中、当センターや協力博物館^{※1}による展示、「恐竜博士」小林快次氏^{※2}のトークイベント、描いた恐竜の絵がモニターの中で動き出す「紙アプリ体験^{※3}」や「ミニ発掘体験」といったワークショップ、「サップロカイギュウ」の木製クラフト展示^{※4}などのプログラムを用意。子どもたちを中心に、延べ約5千人にご来場いただきました。小さなお子さんから大人の方まで、ワークショップを楽しんだり、展示や解説パネルに興味深く見入ったり、思い思いに楽しんでいました。博物館は、気軽に利用できる様々な知識や楽しみ方の「宝庫」。こうしたイベントを通じて、多くの方にお伝えしていきたいと考えています。



- ※1 協力:足寄動物化石博物館
むかわ町穂別博物館
- ※2 北海道大学総合博物館准教授
- ※3 リコー社製イベントツール
協力:リコージャパン株式会社
- ※4 協力:北海道札幌稲穂高等支援学校



交通アクセス

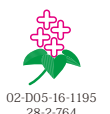
- 地下鉄南北線「澄川駅」北出口から徒歩約10分
- 地下鉄南北線「南平岸駅」東出口から徒歩約15分

札幌市博物館活動センター information

入館料:無料
開館日:火曜~土曜 開館時間:10時~17時
休館日:日曜・月曜、祝日、年末年始(12月29日~1月3日)



ホームページアクセス
QRコード



発行 札幌市博物館活動センター

〒062-0935 札幌市豊平区平岸5条15丁目1-6 Tel: 011-374-5002 Fax: 011-374-5014
Email: museum@city.sapporo.jp ホームページ: <http://www.city.sapporo.jp/museum/>



ミュージックレターは、植物油インキおよび、環境省が定める「グリーン購入法」の適合紙を使用しています。